



会報

昭和62年前期

NO. 28

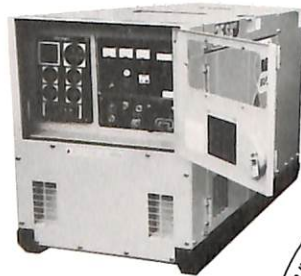
社団法人 全国建設機械器具リース業協会

Denyo

先進のテクノロジー デンヨーのパワーソース

エンジン発電機

0.5~750kVA



DCA-25SPI

エンジン溶接機

100~650A



BLW-280SSW



切断 12~50A
溶接 50~180A

PCX-50SS

DPS-750SS



エンジンコンプレッサー

1.4~26.9m³/min

DBJ-1538SSM



エンジン高圧水ポンプ

50~210kgf/cm²

光と熱と力を供給して38年。
豊富な技術と経験で、
「時代のニーズ」に自信をもってお応えします。



本社 〒164 東京都中野区上高田4-2-2 TEL(228)1111

支店・営業所

札幌営業所011(862)1221・仙台営業所0222(86)2511・北関東営業所0272(51)1931・東京支店03(552)1201・横浜営業所045(774)0321
静岡営業所0542(61)3259・名古屋営業所052(935)0621・金沢営業所0762(91)1231・大阪支店06(488)7131・高松営業所08787(4)3301
広島営業所082(255)6601・福岡営業所092(503)3553 出張所/全国主要39都市

—— 巻頭言 ——



(社)全国建設機械器具リース業協会
会長 坂井 熙

初夏の陽光、緑の葉波に映ゆる季節となりました。今や日本経済は、国際化のきびしい協調を迫られ、貿易の均衡と内需拡大の推進へと、大きく政策転換の余儀なきに至りました。

昭和62年度の政府予算は5兆4千1百10億円の成立を見るに至り、ようやく政策実行の段階を迎え、我々業界の期待する公共事業費の前倒発注も促進される気配となり、今こそ我々が取り組んでいる近代化構造改善5ヶ年計画の第4年目として、有終の結末を得るべく一致協力業界ぐるみの対応が切望される次第であります。

近促法の特定業種指定をうけ、不馴れな構造改善5ヶ年計画の策定に始まり、事業推進はすべての部門に順調に行われてきたとは言い切れない面もありますが、業界全体の近代化の背景には欠く事の出来ない経営者を主軸とする企業体質の改善と、規模の適正化の実現が望まれてきたのでありますが、(社)全建リース協の組織活動を通じ、会員個々の認識と協力により、可搬形発電機整備技術者養成、急速に進展する老齢化社会に対応する人材の活性化と、定着性向上による効率経営と

老後保証を豊かにする業界独自の厚生年金基金の設立を実現し、建設関連産業として、建設大臣告示による登録制の施行に伴う業界の積極的対応が近代化を促進し、経営基盤の確立と社会的地位の向上に大きく貢献せしむる好機を迎えたのであります。

日々日本に上陸する外資系企業との市場占有争奪戦が展開され、我々業界自体が国際競争を国内でやらねばならない環境に追込まれる事も時間の問題でありましょう。更に建設機械器具の賃貸業として安全且つ高質な機材の提供ではもう国内に於ても国際的にも立ちゆかなくなる時代が目前に迫っている。それは技術革新の中に新しく求められる施行技術をマスターした賃貸業者であらねば

(次頁に続く)

会報第28号 目次

第14回定期総会	2
新組織図	3
各委員会・委員長及副委員長名簿	4
レンタル料金の実態調査	4
ご挨拶(秋田県建機リース業協会)	5
第6回流通委員会	6
協会の活動	8
構造改善計画の概要	10
「管理技術者講習会」の発足	13
厚生年金基金設立について	15
海外交流	18
地区だより	20
協会支部名簿	33
編集後記	34

ならない条件への挑戦と、効率経営を増進する徹底した合理化の推進による業界ぐるみの競争力の強化、集約化により勝利者となる以外には生き残れないでしょう。

愈々登録制施行に伴う管理技術者の講習会も本格的に全国的に実施される段階に至り、会員各位の益々のご健闘とご発展を心から祈念致します。



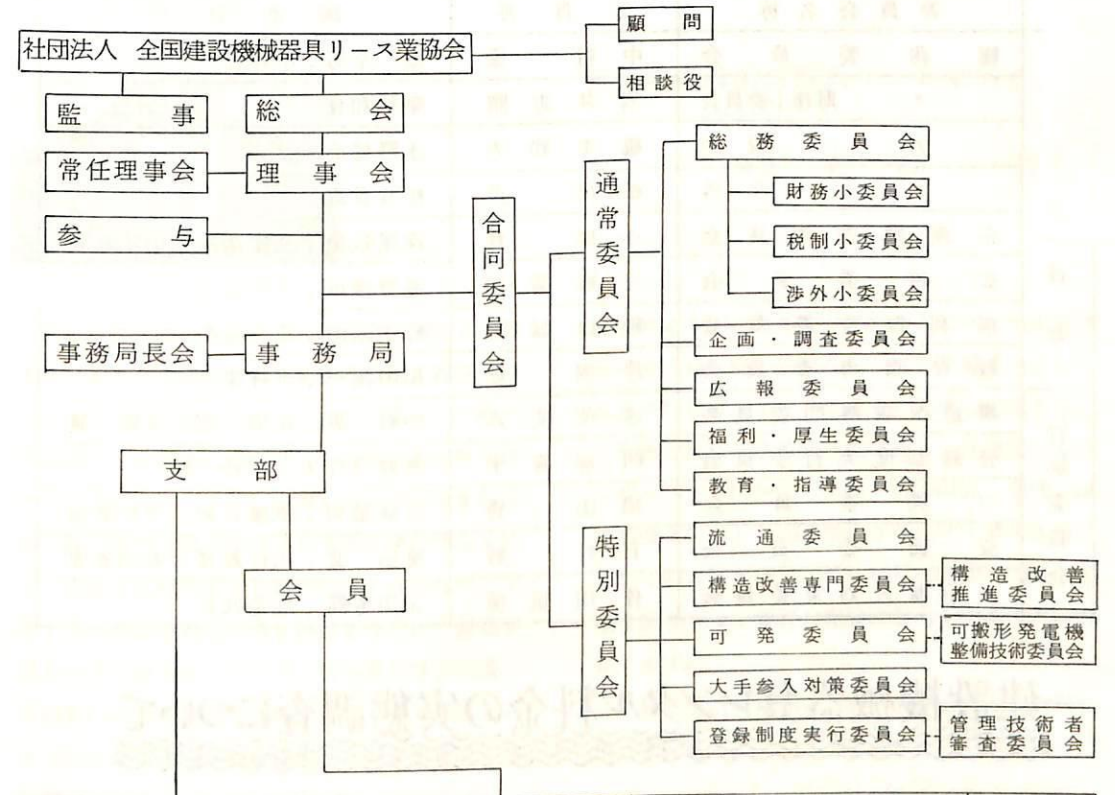
日時 昭和62年5月22日
 場所 池之端文化センター
 出席者 774名(出席40名,委任状734名)
 (3月末会員数1,037名)

- 次第
1. 総会成立報告 松田専務理事
 2. 開会の辞 小俣副会長
 3. 会長の挨拶 坂井会長
 4. 議長選任及び挨拶 阿部副会長
 5. 議事録署名人の指名
 指名・署名人 三瓶常任理事
 高屋理事
 6. 議案及び報告事項
 - (1) 昭和61年度事業報告承認の件 松田専務理事
 - (2) 昭和61年度収支決算承認の件
 酒井財務小委員長
 (監査報告) 大島監事

- (3) 昭和62年度事業計画承認の件 松田専務理事
- (4) 昭和62年度収支予算承認の件
 酒井財務小委員長
- (5) 秋田支部設立承認の件 松田専務理事
- (6) その他
 上程された議事については、滞りなく可決承認された。
 来賓祝辞
 閉会の辞
 本総会来賓として、当協会顧問・参議院議員・古賀雷四郎、衆議院議員・三塚博諸先生をはじめ、建設省建設経済局建設機械課・本田課長、建設振興課・藤條課長、建設業電気保安協議会・今井会長、建設業専門団体協議会・海老原専務理事及び関係諸団体の方々より、お祝辞とはげましのお言葉を賜った。

組 織 図

(昭和62年5月現在)



地区	団体名	会員数		地区	団体名	会員数		
		支部	地区			支部	地区	
北海道	北海道建設機械リース業協会	69	69	北陸・福井	富山県建設機械リース業協会	18	49	
					石川県建設機械リース業協会	20		
					福井県建設機械リース業協同組合	11		
東 北	青森県建設機械リース業協会	21	122	近 畿	大阪建設機械リース協同組合	124	153	
	宮城県建設機械リース業協会	58			兵庫県建設機械リース業協同組合	29		
	秋田県建設機械器具リース業協会	18			中国	中国建設機械リース業協会		76
福島県建設機械器具リース業協会	25	四 国	四国建設機械リース業協会	26		26		
関 東・甲 信 越	新東京建設機械リース業協会		200	357	九 含 沖 州 繩	九州建設機械器具リース業協会	106	106
	群馬県建設機械リース業協会		26			合 計	21団体 (17協会・3協組・1工組)	1,059
	神奈川県建設機械リース業協会		73					
	長野県建設機械リース業協会		34					
東 海・中 部	茨城県建設機械リース業協会	24	101					
	静岡県重機建設業工業組合	9						
	静岡県建設機械リース業協会	24						
	中部建設機械リース業協会	68						

各委員会・委員長及び副委員長名簿

	委員会名称	委員長	副委員長
通常委員会	総務委員会	中村 憲	原 幸男, 小林 鈴夫
	" 財務小委員会	酒井 忠晴	染谷 和良
	" 税制	橋本 和夫	水野 健治
	" 渉外	松尾 茂	松井 重雄
	企画調査委員会	小俣 實	深尾 弘美, 高屋 浩志, 山本 高義
	広報委員会	三瓶 徳司	高野 義雄, 大坪 安治
	福利厚生委員会	野口 誠輔	町田 宗治, 荒巻 信次
	教育指導委員会	片桐 理	田中 萬一, 小林 定之
特別委員会	構造改善専門委員会	志茂 法人	中野 勇, 松尾 茂, 小俣 實
	登録制度実行委員会	阿部 喜平	長井 三佐夫, 菅野 剛
	可発委員会	福山 勝	三瓶 徳司, 伊藤 武史, 玉井 武治
	流通委員会	石井 毅	奥田 實, 川村 雄蔵, 吉川 義孝
	大手参入対策委員会	佐川 重徳	末田 芳晴, 加地 武弘

建設機械器具レンタル料金の実態調査について

流通委員会

このたび財団法人建設物価調査会において、当協会加盟企業を対象に全国的規模の標記、実勢価格の調査が実施されます。調査の目的は下記要領により昭和63年新年特集号として発刊される、月刊誌「建設物価」の資料に供されるものであります。

同誌は、発行部数13万5,000部に達し、諸官公庁、地方自治体及び建設業界等広範囲において積算、検査の基準資料として活用されます。レンタル料金水準の推移は当業界にとっても貴重な課題であります。

当協会としては、本調査への協力を積極的に推進し、市場料金の適正化と適正利潤確保に繋げる

一助となるよう期待しておりますので、会員皆様の積極的なご協力をお願い申し上げます。

記

特集号の計画

- 時期 昭和63年新年号
- 内容
1. 建設機械と販売価格
 2. 建設機械器具賃貸業の実態
 - (1) 業界の概要
 - (2) 賃貸料金の算定方式
 - (3) 賃貸料金(地区別)
 - (4) 保有台数()



ご挨拶

秋田県建設機械器具リース業協会

会長 大高 至

秋田県建設機械器具リース業協会は昭和60年4月可搬形発電機の整備技術者の設置が義務づけられたことが契機となり、その対応策として県内の建機リース業者は宮城県・青森県の両協会に恣意的に分散加入し夫々ご指導を仰いでおりましたが、同一県内で業を営み乍ら情報交換の機会もなく、激動する建設業界の動向把握と適切な対応を期するためにも対話の場を設けようという意識が盛り上って参りましたので、宮城県阿部会長殿、青森県川村会長殿のご指導を得て、翌61年4月とり敢えず任意団体の秋田県リース協を設立した次第であります。

爾来約1年間、隔月例会を開催し、情報交換を重ね、会員相互の親睦を図りつつ県内一本化を目指し準備を進めて参りました処、お陰様にて本年4月1日より「社団法人 全国建設機械器具リース業協会秋田支部」としてご承認賜り、去る5月12日第1回定期総会を開催致しました。

念願の公益法人の一員となりましたのでこの機会に広域業者をはじめ県内未加入業者に加入方勸奨しました処、新規に7社が正会員としてご加入願ひ、7月1日現在、正会員20社、賛助会員18社の陣容となりました。賛助会員はじめ新規加入の正会員の各位に対し心から感謝申し上げます。

又、定期総会には本部より坂井会長殿、松田専務理事殿、宮城県より阿部会長殿、中野副会長殿

青森県より川村会長殿が遠路わざわざご来臨下され過分のお祝辞と激励のことばを頂戴致しましたことに対し紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

今後とも私共会員は一致団結し、多様化するユーザーニーズにお応えすべく技術研究、管理、品質の向上を図り“知識集約型複合サービス産業”としての自覚を持ち、更に相互の親睦と交流の促進を図りつゝ、業界の発展に寄与して参りたいと存じます。

先輩各位のご指導、ご鞭撻のほど宜しく願ひ申し上げます。

事務局 〒102

秋田県湯沢市千石町四丁目2番50号

株式会社 丸大工機商会内

TEL 0183(73)5151

FAX 0183(73)3353

事務局長 大内 英 昭

第6回流通委員会議事録

日時 昭和62年5月8日 PM 1:30

会場 ニューオオサカホテル

出席者 石井流通委員長, 奥田副委員長

川村副委員長, 流通委員7名

佐川大手参入対策委員長

坂井会長, 松田専務理事

近畿地建 岡田機械課長

オブザーバー (大阪12名, 兵庫4名)

議事次第

○開会あいさつ (奥田副委員長)

本日第6回目の流通委員会を開くことになった。流通の問題は非常に難しい面が多々あるが、皆様の英知をもって、1つ1つ解決していきたい。

○坂井会長あいさつ

流通委は、特に建設省のご理解のもとに、各ブロック単位で、あるべき姿を求めて行こうというものであり、日本は有意義な会合となるよう、お願いしたい。

○近畿地建・岡田機械課長あいさつ

本日は、流通委の大会に招待いただき恐縮している。近畿地区は、関西新空港をはじめ大プロジェクトの始動で活況を呈してきている。こうした中で建設施工にともなう建設機械器具レンタル業の役割は非常に重要なものとなっており、今後、健全な安定した形で成長していくことを期待している。

○佐川大手参入対策委員長

小松の件などもあり、委員会として対策を重ねていきたい。

○石井流通委員長あいさつ

日々行なっていることが流通である。取引の正常化、適正価格の確保等問題は山積みであるが、長い目で各支部の協力を得ながら問題解決を図り

たい。本日は、有意義な会合となるよう、忌憚のない意見を出していただきたい。

(議題)

1. 広域会員入会について

○松田専務理事より、大手同業8社との懇談会ならびに、流通小委(4月29日)の経過が報告された。

広域会員の入会については、一部の大手業者、一部の各支部において広義の解釈があり、全国統一見解を得るには多少時間がかかることが予想されるものの、地域との協調を図るため、各支部への入会の原則を促進していくことになった。

なお、この件に関しては、8社以外で、全国、地域でレンタル年商40億円前後以上の会員についても同趣旨の呼びかけを文書で行なう予定。

○石井委員長

広域会員には、各支部に加盟してもらい、これが基本的には本筋だと思う。地域との協調を図るべきである。

2. 小松製作所参入問題について

○経過報告 (松田専務理事)

本件に関する建設省、公正取引委員会等の指導方針に基づく対応について。

○坂井会長

会員(1,000社)の中には、小松製作所と取引しているところもあると思うが……、われわれの業界は、一致団結して自助努力していくことしかない。メーカー、商社の業界参入については、業界あげて対策を講じていく事が大切である。

○松田専務理事

公取委の見解を加味して小松への申込書を4月20日に提出した。業界の動きを無視した行動を小松が今後もとるなら、公取委も審査に乗り出す

ものと思われる。

※分野調整法に関する点で、松田専務理事より説明あり。〈問題の支部の調査等〉〈中小企業分野確保協議会〉

○石井委員長

この問題は会員同志が、一致協力することが大切。

○青森の委員

三菱の系列会社が青森で正会員となっており、住友も同様な動きが出ている。小松を対象にするだけで、三菱、住友はどうか?

○松田専務理事

小松の今回の問題は、小松が系列デイラーを通して積極的に業界に参入する意図が濃いので、最大のメーカーである小松に照準を合わせて、対処することで、他のメーカーへの波及的効果が考えられる。

○石井委員長

東北の場合は、すでに正会員として確立しているところを取り上げていこうという訳である。

○松田専務理事

現在、問題が起きている四国、新潟、青森を中心にその他問題のある各支部で、小松に関する実態調査を実施(5月中に)し、まとめた正確な資料を本部に提出してもらいたい。

○石井委員長

6月中旬までに本部に資料を提出していただきたい。

○松田専務理事

この問題は、先づ関係官庁の指導に基き、政令による近代化計画の実行を通して会員企業の強化を図ると共に協会の団結により、広く世論に訴え、自粛を求めることが肝要である。事態の推移によっては、この問題は、最終的には裁判にまでもっていくことも辞せぬ覚悟でやるという決意が必要。

○坂井会長

調査については、真びょう性が相当重要になるので、調査費用を本部で負担するわけにはいかないか。(興信所を使った場合)

○末田委員

問題が起きてからでは、対応はむずかしい。小松だけに絞って、ということであるが、文書での申し入れ等をこの際、他メーカー(三菱や住友、等)にも配布すべきではないか。

○石井委員長

当面は小松の問題を対処するのが先決で、他メーカーへの文書での申し入れ等については、理事会で決めていただくことにしたい。流通の立場としては、佐川委員長におあずけしたい。

○奥田副委員長

小松のもんだいを対処するのが先決で、他のメーカーについては、懇談会等を開いて対処すべきと思う。

○石井委員長

小松の調査を先づ行なうことにしたい。

3. レンタル実施価格調査について

(建設物価調査会)

○松田専務理事より経過報告と説明あり<省略>

○末田委員

例えば、月極日数について、各企業に差がある。最高のものか、平均的なものなのか、それによって問題も生じてくるだろう。あとで苦情が出ないように、その辺の取り決めをする必要があるのではないか。

○奥田副委員長

各支部において月極日数を出してもらい、各地域によって差があると思う。

○末田委員

各社での希望価格が当然あると思うので、その点の項目を設けてはどうか。

○奥田副委員長

特集号には、算定方式も掲載される。

○神奈川の委員
算定方式であれば、実態価格と相当かけ離れたものとなった。

○関口委員
計算を専門会社に依頼、モデルを作成して、それをもとにすれば、出しやすいとも思える。事務機能（各支部）での問題もあるが……。

○奥田副委員長
算定方式そのものは難しくない。数字を記入するだけでよい。

※その他の意見
＜1＞ 1日単位は実施価格と希望価格の各項目を設けた調査用紙とする。

＜2＞ 希望価格は、各支部毎の最大公約数でまとめる。

＜3＞ 各会員は調査票を所属各支部に送付、各支部はそれをまとめて本部に送付する。尚、調査票のフォームは奥田副委員長が作成する。

4. 取扱説明書の作成
○機器取扱説明書（マニュアル）作成の為、62年度予算で250万円を計上し、有料配布する。（印刷の概略見積りは大阪で）

尚、作成については教育委員会と共同で取り組む。
※今回の流通委員会（ブロック会議）は、九州での開催を予定。

20 建設業近代化促進団体協議会構造改善報告会議 於：振興基金

26 厚生年金基金準備委員会（於：明治生命）

28 中小企業サービス業振興会議（麴町会館）（松田、桑原、関口、谷、赤坂）

12.1 厚生年金基金受託者会議（於：全建リース協）

2 衆議院議員三塚先生出版記念パーティー（東京プリンスホテル）（木村常務理事志茂常任理事）

4 新東京支部、登録制度説明会（松田専務理事、桑原事務局長）

5 構造改善説明会（木村常務理事）

9 登録制度実行委員会（於：全建リース協）

10 陳情、税制改正について（中村喜四郎、井上吉夫先生）（松田専務理事、桑原事務局長）

16 建設業専門団体協議会（建專協）（桑原事務局長）

18 陳情：公益法人課税反対、中村喜四郎先生（松田専務理事、桑原事務局長）

〃 厚生年金基金ヒアリング（都庁保険課）（松田専務理事）

19 成城大学法学部庄教授来協（管理技術者の件）

20 総務流通、登録制度合同委員会（於：全建リース協）

22 建近協構造改善事業推進団体会議及懇親会（松田専務理事、桑原事務局長）

23 厚生年金基金受託者会議及懇親会（於：全建リース協）

24 建設業専門団体協議会幹事会（税制説明）（松田専務理事）

25 税制ヒアリング（建設省）（小俣副会長、松田専務理事）

〃 陳情、新型間接税について、中村喜四郎

先生（松田専務理事）

27 仕事納め

62.1.5～7 新年挨拶のため建設省、通産省資源エネルギー庁、国民金融公庫、中小企業庁、機械化協会、内発協、建專協（松田専務理事、木村常務理事、桑原事務局長）

1. 9 厚生年金基金打合せ（都庁保険課）松田専務理事、静岡県重機建設業工業組合訪問（松田専務理事）

14 厚生年金基金ヒアリング（都庁保険課）（坂井会長、小俣副会長、松田専務理事）

〃 建設業専門団体協議会新春賀詞交歓会（坂井会長、松田専務理事、桑原事務局長）

16 日本建設機械化協会リース・レンタル部会（松田専務理事）

19 厚生年金基金受託者会議（於：全建リース協）

20 日本土工協、通産省訪問（松田専務理事）厚生年金基金（都庁保険課）（松田専務理事）軽仮設協会萩原事務、小田島氏来協

建政会（坂野重信）賀詞交歓会（松田専務理事）

21 新東京建設機械リース業協会新年賀詞交歓会（於：池之端文化センター）

23 日本内燃力発電設備協会新年賀詞交歓会（桑原事務局長）

26 建設業近代化促進団体協議会（振興基金）（桑原事務局長）

28 群馬支部賀詞交歓会（松田専務理事）建設業専門団体協議会（桑原事務局長）

29 中小企業庁ヒアリング（松田専務理事、桑原事務局長）

30 建設省機械課に理事増員要望書提出

2. 2 厚生年金基金設立予備申請（都庁保険課）（坂井会長、小俣副会長、松田専務理事）

協会の活動

6.1.1 0.1～6.2.3

61.10.1 中小企業近代化推進委員会（松田専務理事）

3 陳情、公共事業費予算の大幅増額補正と62年度公共事業費予算の大幅増額（労働省）（坂井会長、松田専務理事、桑原事務局長及び関連団体代表）

6 厚生年金基金受託者会議（個別会議）

7 通産省・資源エネルギー庁訪問（松田専務理事）

9 総務小委員会（小俣、小林、松田、桑原）

14 建設業近代化促進団体協議会（松田専務理事、桑原事務局長）

16 全建リース協・群馬支部研修会（松田専務理事）

20 管理技術者委員会（於：全建リース協）

23～24 第37回理事会（於：下呂温泉水明

館）

28 管理技術者小委員会（於：全建リース協）

31 建設業専門団体協議会講演会（於：麴町会館）

1. 4 建設業専門団体協議会幹事会（松田専務理事、桑原事務局長）

5 伊藤忠建機清水常務訪問（松田専務理事）

6 厚生年金基金受託者会議（個別会議）

10 建設業専門団体協議会定例懇談会（坂井会長、松田専務理事）

11 建設業専門団体協議会幹事会（桑原事務局長）

14 建設業専門団体協議会幹事会（日建大協）（桑原事務局長）

17 成城大学法学部庄教授来協（管理技術者の件）

19 第3回可発委員会

〃 陳情（新型間接税反対）衆議院三塚先生（松田専務理事）

建設機械器具賃貸業の構造改善計画の概要

構造改善専門委員会

1. 構造改善に係る承認日

昭和59年4月1日

全体計画(59年4月～64年3月)及び

昭和59年度計画承認

昭和60年3月30日

昭和59年度報告書及び60年度計画承認

昭和61年3月31日

昭和60年度報告書及び61年度計画承認

昭和62年4月8日

昭和61年度報告書及び62年度計画承認

2. 建設機械器具賃貸業の業積

サービス業(日本標準産業分類 7222)

主として各種の建設工事に用いる建設機械器具を賃貸することを業として行うものをいう。

但し、賃貸業の売上高又は賃貸業に係る固定資産が金融面(中小企業金融公庫、国民金融公庫等)では30%以上、税制面(割増償却等)では50%以上であることとなっている。

3. 業界構造改善の要旨

(1) 建設機械器具に係る整備能力を身につけた技術者と、優れた管理能力を有する経営者及び後継者の養成・確保を図るため技術者、経営管理者研修等の実施。経営に関する情報の収集、提供に努める。

(2) 顧客のニーズに的確、かつ迅速に対応するため、新技術、新工法の調査研究並びに賃貸用建設機械器具及び設備の近代化を図るほか、経理、在庫、整備、稼働等の状況を把握するためOA化を導入し、経営管理の合理化を図るため、標準経営モデルを策定し、その普及に努める。

(3) 賃貸用建設機械器具の効率的稼働を推進し、生産性の向上を図るため適正規模(賃貸用建

設機械器具の数量、施設設備、売上高、採算、従業員数、工程等)の実現に努める。

(4) 経営方式を適正化し、合理化を図るため、事業協同組合又は業務提携などによる共同整備工場の設置、特殊機械、テスター等の共同保有、資機材の共同購入、共同受注、共同保管等の共同事業(集約化)に努める。

(5) 生産性又は経営の規模又は方式の適世化を図るための経営体質改善の目標、目標値の到達を図る。

(6) 過当競争を防止するため賃貸原価の把握に努め、原価管理を確立して適正価格による取引及び文書による契約を促進する。このため標準的な賃貸契約約款の制定を図る。

(7) 従業員の確保及び定着並びに勤労意欲の高揚を図るため労働条件の改善、退職金制度の確立、副利厚生制度、施設の整備等を図る。

(8) 労働災害の防止及び作業の安全を図るため安全教育訓練を徹底するとともに作業場内の安全衛生の確保を図る。

(9) 平常時から地方公共団体等と密接な連携を保ち、災害発生時等に必要な建設機械器具を円滑に提供し、もって復旧作業等が速やかに実施できるよう訓練及び協力を図る。

(10) 環境の保全に資するため、より騒音、振動等の少ない機械の積極的な導入に努める。

- 3 売上税検討委員会ヒアリング(於:振興基金)(小俣副会長, 桑原事務局長)
- 4 流通小委員会(名古屋ターミナルホテル)(坂井会長, 松田専務理事)
- 5 建設省・中部地方建設局訪問(坂井会長, 松田専務理事)
- 6 茨城支部理事会(木村常務理事)
- 1 2 建荷協宮本氏来協
- 1 3 厚生年金基金ヒアリングの為の協会打合せ(全建リース協)
- 1 4 茨城支部構造改善事業説明会(木村常務理事)
- 1 6 建機レンタル流通懇話会(全建リース協)
- 1 8 構造改善推進状況現況調査九州支部(建設省石川係長, 関根係員, 木村常務理事)
" 厚生年金基金設立ヒアリング(富国生命ビル)(坂井会長, 小俣副会長, 松田専務理事)
- 1 9 管理技術者試験制度委員会(全建リース協)
- 2 0 厚生年金基金受託者会議(全建リース協)
- 2 3 厚生年金基金準備委員会(全建リース協)
- 2 6 東京通産局発電課立入検査の件(関口, 桑原事務局長)
- 2 7 同和問題講演会(都市センターホール)(木村常務理事)
" 公益法人会計基準研修会
" 流通委員会(名古屋)(松田専務理事, 桑原事務局長)
- 3. 4 日本建設機械化協会リース・レンタル部会(松田専務理事)
- 4 建設業専門団体協議会幹事会(桑原事務局長)
- 5 管理技術者委員会(小委員会)(全建リース協)
- 6 自民党税制懇談会(自民党本部)(桑原事務局長)
- 3. 9 管理技術者委員会(小委員会)(全建リース協)
" 厚生年金基金受託者会議(全建リース協)
- 1 0 管理技術者委員会(小委員会)(全建リース協)
" 建設業専門団体協議会幹事会(桑原事務局長)
- 1 3 厚生年金基金設立本申請書提出(都庁保険課)
- 1 6 理事会及び厚生年金基金設立準備委員会(明治生命本社会議室, 懇親会)(丸の内会館)
- 1 7 日本建設機械化協会(建設業界の懇話会)(松田専務理事)
- 1 8 東京都庁, 建設省訪問(松田専務理事)
- 1 9 第4回可発委員会(全建リース協)
- 2 0 構造改善事業報告に関する事前審議(全建リース協)
- 2 3 厚生年金基金受託者会議(全建リース協)
- 2 4 管理技術者委員会(小委員会)(全建リース協)
- 2 5 中小企業近代化審議会分科会(坂井会長, 小俣副会長, 三瓶常任理事, 志茂常任理事, 松田専務理事)
- 2 6 臨時理事会(全建リース協)
" 小松製作所(水野部長, 松本課長)と大手参入につき協議(坂井会長, 小俣副会長, 佐川副会長, 石井常任理事, 松尾常任理事, 田中理事)
- 2 7 秋田支部発足につき, 大竹氏来協
- 2 7 建設業専門団体協議会定例懇談会(坂井会長, 松田専務理事)
- 3 1 厚生年金基金大臣認可証授与(小俣副会長, 松田専務理事, 基金永田常任理事, 鈴木業務課長)

以上

経営方式の適正化を図るための経営指標の目標値

経営指標	資本金規模				
	個人	500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上
売上高総利益率	30%以上	35%以上	32%以上	30%以上	24%以上
売上高一般管理費率	23%以上	30%以上	27%以上	25%以上	19%以上
売上高営業利益率	7%以上	5%以上	5%以上	5%以上	5%以上
売上高経常利益率	5%以上	3%以上	3%以上	3%以上	3%以上

4. 構造改善計画の事業

1) 新技術, 技能の開発, 修得

- (1) 人材の養成事業
- (2) 技術, 技能の開発, 研究事業
- (3) 調査及び情報サービス事業

2) 経営方式の適正化

- (1) 事業の集約化
- (2) 設備の近代化事業
- (3) 規模適正化事業

3) 取引関係の改善

- (1) 需要の開発事業
- (2) 取引関係の改善事業
- (3) 競争の正常化事業

4) 福利厚生事業等

- (1) 従業員福祉の向上事業
- (2) 地域社会に対するサービス事業
- (3) 環境の保全事業
- (4) その他

5. 事業の所要資金計画と進捗状況

事業区分	全体計画(5カ年)		59年度～61年度(3カ年)実績		
	所要資金	合計	59年度	60年度	61年度
1) 新技術, 技能の開発, 修得	243,980	182,008	16,031	99,373	66,604
2) 経営方式の適正化	300,198,010	160,330,716	50,265,046	56,494,409	53,571,261
3) 取引関係の改善	37,820	12,176	2,125	4,291	5,760
4) 福利厚生事業等	123,040	29,529	7,037	8,863	13,629
合計	300,602,850	160,554,429	50,290,239	56,606,936	53,657,254

所要資金3カ年の進捗状況は、計画に対して53.4%で概ね89%の達成とみられる。

(3/5年=60%=100%)

6. 3カ年の効果等

1) 新技術, 技能の開発, 修得

人材の養成事業は、支部別、地域別単位で、支部又は本部が実施しており、整備士技能検定試験受験準備講習会、資格、免許取得の講習会、教習会は慣例化した、とくに可搬形発

電機整備技術者資格認定講習会は、60,61年度における受講者は、2,447人であり、その95%が合格した。講習会等により資格者となった者の自信、また今後の向学心に好影響があった、とくに可搬形については効果が大きかった。

また、経営管理者の管理意識が高揚し、会計、税務、労務雇用等についてはレベルUPがみられ企業の対外信用がたかまってきている。

開発、研究についてもメーカー、ユーザー等を交えた検討会の開催ほか新機種の研究が活発となった。

2) 経営方式の適正化

事業の集約化については、61年度より推進を強化した結果、現在のところ次表のとおり業務提携を発展的段階として27グループ、220社が締結済となった。

設備の近代化については、時代の要請により騒

集約化の形態		グループ数		参加者数	
		全体計画	62年5月現在	全体計画	62年5月現在
協同組合	新設	27	2	258	20
	既設	5	5	139	168
業務提携	新設	2	27	6	220
	既設	0	0	0	0
その他 (工業組合)	新設	1	0	12	0
	既設	1	1	9	9
独立企業				347	354
合計		36	35	771	771

音、振動対策機の導入が増大している。なお、一部であるが各企業の設備機械の導入を制限或は調整しており、業務提携による相互利用が増大した。

また、過剰設備の回避、適正保有について啓蒙中である。

3) 取引関係の改善

地域別単位で流通委員会を開催し、情報の交換、原価管理等について、目標値達成を踏まえた原価意識が徐々に浸透し、安値受注の歯止め、払拭の傾向がたかまっている。

4) 福利厚生事業等

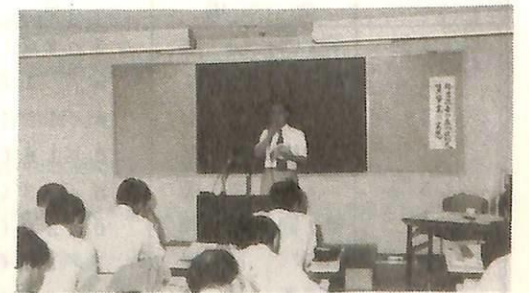
全国建設機械器具リース業厚生年金基金が62年4月1日、320社、7,000余人の加入で発足した。

安全衛生、災害防止については年々熱心の割合が増している。

産害時の対応については、狭域提供資料の作成等地方公共団体との連携を図るところとなり

つつある。

管理技術者講習会



「管理技術者講習会」

発足に当って!!

建設機械器具賃貸業は、建設工事の担い手として、顧客に対し機械器具の供給及び安全と技術の提供は勿論のこと、工事規模の大型化、複雑化に対応するため多種多様なユーザーニーズに答えることが肝要です。

この為には、新しい技術や、豊かな知識を十分に持つと共に、人格的にも、信頼に足る人物でなければなりません。

社団法人 全国建設機械器具リース業協会は、建設省の指導により自主的に検定試験制度を図り「知識及び技術向上の為の技術者の養成を行う。」こととしました。

国がこの試験制度を認定することにより、登録の為の人的要因である、有資格者（建設機械器具賃貸管理技術者）として、これが認められることとなります。

〔登録の主旨〕

建設省では、規定に定める、登録要件に該当する専門的な知識及び技術を有する業者について、建設省に備える業者登録簿に登録することにより、個々の業者の業務内容を公示・公証し、これらの業者を利用する発注者の便宜に供するとともに、併せて業界の発展助長につとめることにある。とされており、育成と活用が目的であります。

講習会開催スケジュール

	会場	日程	予定員数	備考
第1回	仙台	5/26(火)27(水)	120	青年会館
2	第1回 大阪	6/1(月)2(火)	200	府立労働センター
3	富山	6/11(木)12(金)	90	中小企業研修
4	第1回 札幌	6/18(木)19(金)	100	共済ホール
5	高松	6/23(火)24(水)	77	厚生年金会館
6	第1回 福岡	6/29(月)30(火)	140	天神ホール
7	沖縄	7/11(土)12(日)	40	都パレス
8	第2回 福岡	7/27(月)28(火)	120	福岡電気ビル
9	第2回 大阪	8/7(金)8(土)	200	府立労働センター
10	広島	8/11(火)12(木)	150	厚生年金会館
11	第1回 名古屋	8/26(水)27(木)	200	産業貿易館
12	第1回 東京	9/7(月)8(火)	400	東京電機大学
13	第2回 東京	9/9(水)10(木)	400	東京電機大学
14	第2回 仙台	9/25(金)26(土)	150	青年会館
15	第2回 名古屋	10/15(木)16(金)	150	産業貿易館
16	第2回 札幌	10/22(木)23(金)	100	共済ホール
	合計		2,630	

昭和62年度

管理技術者講師一覧表

氏名	所属及び役職	所在地	電話
谷口 敏久	北海道開発局 機械課長補佐	〒064 札幌市中央区北三条西四丁目	011-231-1151
石沢 利雄	建設省東北地方建設局道路部 機械課長	〒980 仙台市二日町9-15	022-225-2171
中井 登	建設省建設経済局建設機械課 直轄係長	〒100 東京都千代田区霞ヶ関2-1	03-580-4311
太田 宏	建設省中部地方建設局道路部 機械課長	〒460 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎	052-962-6311
岡田 道弘	建設省近畿地方建設局道路部 機械課長	〒540 大阪市東区大手町前之町大阪合同庁舎1号館	06-942-1141
萩原 哲雄	建設省中国地方建設局 機械課長	〒730 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号舎	082-221-9231
芹澤 富雄	建設省四国地方建設局 機械課長	〒760 高松市福岡町4-26-32	0878-51-8061
橋本 和男	建設省九州地方建設局 機械課長	〒812 福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第2合同庁舎	092-471-6331
庄 政志	成城大学法学部 教授	〒157 東京都世田谷区成城6-1-20	03-482-1181
清水 辰夫	伊藤忠建機(株) 常務取締役	〒103 東京都中央区日本橋本町1-16	03-242-5211
二見 豊	二見公認会計士事務所 公認会計士	〒760 高松市中野町15-10	0878-33-2308
海老原 明	社・全国クレーン建設業協会 専務理事	〒104 東京都中央区八重洲2-7-9	03-281-5003
弓納持善正	日の出クレーン(株) 取締役総括部長	〒501-61 岐阜県羽島郡岐南町平島777	0582-46-4311
宮原 堅	大成建設(株)機械部 指導担当部長	〒160 東京都新宿区西新宿1-25-1	03-348-1111
西尾 晃	西尾レントオール(株) 代表取締役	〒542 大阪市南区鯉谷中之町67	06-251-7302
岸上 淳	西尾レントオール(株) 常務取締役	〒101 東京都千代田区神田須田町1-5-14	03-257-0240
新田 四郎	産業リーシング(株) 常務取締役	〒101 東京都千代田区三崎町1-3-12	03-295-7511
繁田 貞夫	(株)伸成電機工業 常務取締役	〒133 東京都江戸川区篠崎町6-142	03-670-1504
真宅 康博	真弥機業(株) 代表取締役	〒101 東京都千代田区神田和泉町1-1	03-861-4457
岡部 広和	サコス(株) 事業部長	〒108 東京都港区高輪1-5-8	03-443-3281
芝田 実	安全教育研究所 所長	〒193 八王子市狭間町1804-94	0462-65-7562
松田 寛司	社・全建リース業協会 専務理事	〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1	03-293-7273
桑原 重夫	社・全建リース業協会 事務局長	〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1	03-293-7273



ごあいさつ

全国建設機械器具リース業厚生年金基金

常務理事 永田正陽

このたび、全国建設機械器具リース業厚生年金基金は厚生大臣の認可を受け、昭和62年4月1日付をもって設立発足いたしました。去る4月21日開催された理事会において理事長よりご指名いただき、常務理事に就任以来3カ月有余、先ずは業務が順調に推移しておりますことをご報告申し上げます。

現在、設立事業所は331社、加入員は7123人となっています。今後は積極的に設立事業所の拡大を進めてまいりたいと考えております。

ご賢察のとおり、わが国では、世界に例をみない速さで人口の高齢化が進み、平均寿命も著しい伸びをみせ、いまや人生80年時代を迎えております。私たちの老後の暮らしを支えてくれる年金制度にますます大きな期待が寄せられております。

しかしながら、公的年金だけで長い老後の生活資金を支えるには限界がありますので、これを補い合う制度として「企業年金制度」(厚生年金基金制度等)がとり入れられてきたわけです。昭和61年4月から、基礎年金導入を中心とした公的年金制度の大改革によって、公的年金は老後の所得保障の基礎的部分を担うことが明確になりました。これに伴って厚生年金基金の役割がさらに増大し、制度を支える支柱のひとつになってきました。

基金設立の利点としてつぎのことがあげられます。企業にとりましては①退職金の一部を無理なく積立てでき、多額の退職金支払が生じて企業

の操業資金を窮屈にしないですみます。加算部分については、企業の退職金と調整することができます。②加算掛金等事業主負担は増えますが、税法上全額損金算入扱いになります。③将来的には運用収益の活用によって、給付改善や福祉事業を実施することができます。④従業員の福利厚生面の充実により、有能な人材の確保と定着がはかられ企業の繁栄に役立ちます。加入員にとりましては①加入前と同じ掛金で国の老齢厚生年金部分より多い年金額を受け取ることができます。②退職後当基金以外の会社に勤務した場合は、在職中でも60歳から全額支給されます。③加入期間が1カ月でもその期間に見合う年金が支給されます。④加算年金(第1種退職年金)は、加入期間15年で支給されます。また、加算部分は希望により一時金としても受けられます。⑤加入員期間が3年以上15年未満の人には年齢を問わず退職一時金が支給されます。⑥他に遺族一時金の支給、将来的には前述の福祉施設事業があります。

当基金の概略を述べてまいりましたが、加入員の増加によって制度はより充実させることができます。積極的な参加をお願いいたします。私たち事務局職員一同は、日常の業務執行に当っては厳正公正を期すとともに、サービスの向上に努めてまいりたいと存じますので今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

厚生年金基金設立の御案内

かねてより皆様に御協力を御願いし、推進して来ました「全国建設機械器具リース業厚生年金基金」の設立が此のたび完了し、去る4月1日より正式に発足しました。

皆様方のお力添えに感謝致しますと共に、今後は何時でも加入出来ますので未加入の方は随時お申し出、御加入賜ります様お願い申し上げます。

名称 全国建設機械器具リース業厚生年金基金
所在地 〒102 東京都千代田区飯田橋2-7-5

明治生命飯田橋ビル
TEL 03(230)3871~2

組織 常務理事 永田正陽 総括責任者
業務課長 鈴木賢二 業務、事務
事務職員 山田明美 事務
事務職員 川島紀子 事務

基金の掛金収納取扱銀行

同一銀行間の送金手数料が不要の銀行

三菱銀行(神保町支店)

協和銀行(九段支店)

同一銀行間の送金手数料が100円の銀行

太陽神戸銀行(東京営業本部)

三和銀行(飯田橋支店)

北海道拓殖銀行(丸の内支店)

北陸銀行(白山支店)

同一銀行間の送金を自動振替による銀行

北国銀行(東京支店)

※上記以外の銀行、又は上記銀行でも同一銀行間

以外の送金に付いては所定の手数料が必要です。

基金の掛金に付いて

此の基金の掛金額は次頁の通りです。

全国建設機械リース業厚生年金基金役員及び代議員氏名一覧表

役員	所属	代議員	所属	互選代議員	所属
理事長	坂井 熙	中部	選定代議員	坂井 熙	中部
常務理事	永田 正陽	基金	坂井 熙	片桐 理	北海道
理事	片桐 理	北海道	永田 正陽	小俣 実	新東京
理事	阿部 喜平	宮城	川村 雄蔵	青 森	福山 勝
理事	小俣 実	新東京	阿部 喜平	宮 城	原 幸男
理事	中村 憲	神奈川	高屋 浩志	群 馬	奥田 実
理事	松井 重雄	静岡	渡辺 憲	新東京	中村 憲
理事	吉川 義孝	石川	吉田 重治	富 山	松井 重雄
理事	佐川 重徳	大阪	水野 健治	福 井	吉川 義孝
理事	野口 誠輔	中国	佐川 重徳	大 阪	石川 毅
理事	多田 利夫	九州	野口 誠輔	中 国	末田 芳晴
理事	松田 寛司	全建協	町田 宗治	九 州	多田 利夫
学識監事	新井勝四郎	基金	松田 寛司	全建協	秀浦 達夫
監 事	三瓶 徳司	新東京	松本 常義	北海道	田中 万一
監 事	酒井 忠晴	新東京	三瓶 徳司	新東京	酒井 忠晴

男子……標準給与月額1000分の32
 女子……標準給与月額1000分の30
 (此の金額を事業主と本人で半分づつ負担する。)

以上の他に事業主は、標準給与月額の1000分の11の「加算掛金」を負担する。

基金による給付について

前項の掛金を納付する事により加入員は

下記種類の給付を受けることができますが、その詳細は複雑で紙面の都合上、説明を省略させていただきます。

(給付の種類)

1. 第1種退職年金
2. 第2種退職年金
3. 遺族一時金
4. 脱退一時金

確かな未来、確かな技術。



林パイプレータ株式会社

本社・東京支店 〒105 東京都港区浜松町1-17-13 ☎03(434)8451代
 大阪支店 〒565 大阪府豊中市上新田4-6-8 ☎06(831)3008代
 工場 〒340 埼玉県草加市稲荷5-26-1 ☎0489(31)1111代

札幌営業所 ☎011(704)0851 広島営業所 ☎082(278)6868
 仙台営業所 ☎022(259)0531 高松営業所 ☎0878(82)7117
 間越営業所 ☎0273(23)0771 九州営業所 ☎092(451)5616
 名古屋営業所 ☎052(703)9977 鹿児島営業所 ☎0992(67)6611

海外交流

オーストラリア・レンタルグループ来訪



大阪

予て訪日について、スケジュールが交換されていたオーストラリアのハイヤー(レンタル)業の経営者一行は5月30日に来日し、大阪・東京地区の建設機械器具レンタル業界を始め、夫々の関係メーカーの工場を視察した。

6月4日朝、ゲーリー・バトラー氏を団長とする一行を日航ホテルに迎え、会見したのであるが、視察団は、日本に於ける建設工事用機械のレンタル業の実体を知り、小型機を含めて多機種に亘り、どのような方策を用いているのかを知る為に、多

品目を取扱っている日本のレンタル会社を見学する目的で来日した。

大阪では、坂井会長 佐川副会長他多数の大阪支部の役員、会員共々、日航ホテルでの打合せにより、バスをチャーターして、一行を、日商機械(社長 姫野通雄氏)の営業本部と津守機材センターに案内し、引続いて相互土建機械(社長 小田切和起氏)の本社と大正センターを夫々見学したが、一行は、とても熱心に質問など重ね珍しい機械は写真に収めるなど、さすがオーナー幹部の集団らしく、案内し

東京



た我々も大変に参考になった。

尚、大阪建設機械リース協同組合（理事長 佐川重徳氏）との昼食を兼ねて懇談会を行ったがやはり、円高ドル安の波は避けられないのとレンタル（ハイヤー）業者としての国際的協調を含めた情報交換を更に積極的に行うことなど、親善を深めるに大いに役立つことができた。

一行の多忙なスケジュールのひと時を裂いて大阪城見学に案内し、日本式割烹によるお別れ晩餐会を開催したが、彼等は、当方の短時間ではあるが、心からのサービスに大いに満足されたと思う。

.....

東京では、6月11日（木）朝、帝国ホテルロビーに集合、サコス（株）市川工場を見学、ミーティングを行った。オーストラリアの一行は皆穏やかな紳士であったが、工場視察中は実に熱心で、出発時間をオーバーしてもなかなか腰を上げてくれない程。昼は日比谷の東天紅で会食を行った後、直ちに韓国に向って出発した。

新東京建設機械リース業協会では、先年オーストラリアを訪ねたメンバーに連絡され、松尾副会長、小俣修一氏が歓迎の準備を進めたが、日程変更で、半日のみの短時間になったが、中身の濃い交歓が行われた。特に、デンヨー（株）の貿易担当の山田康弘主任には、専門的に見事な通訳でお手伝いをいただき有難うございました。

当日の東京地区側の参加者は次の通り。

山内鹿蔵相談役、中村憲副会長、松田寛司専務理事、松尾茂常任理事、関口正一郎東京支部事務局長、稲葉重行・リフト商事社長、小俣修一・オマタ土機商會常務、矢沢利政氏（関東フォークリフトサービス）、ノダ企画・野田志一

インフォメーション



ウィリアム F. クッシング氏

去る3月末、クッシング氏（米）と連絡の機会があり、その際のメッセージ等をお伝えします。「①アメリカに於ける建機レンタル業は、同業社長達との話では上向きに変わりつつあり、来年は成長に入るでしょう。②来年4月21日～24日、フィジーで予定されるレンタル国際会議にJ.L.A.もニュージーランドのストロング氏と連絡し、ぜひ参加されたい。③J.L.A.の皆様へ…この3年余私的に大変忙しく、加えて新しい事業（携帯電話機の販売）を始めたりご無沙汰していますが、できるだけ早い機会に又、日本を訪れたい。よろしく。」

氏は、昭和48年7月、当時の全建リース協で初めての海外視察を計画、山内前会長を団長とする一行75名が10日に涉って、アメリカ西部及びホノルルの会社・工場等を訪ねたが、その際の世話人。以後来日視察団を引いて、又は、個人的に数多く来日の日本びいきの人。特に連合会10周年祝賀式典に招かれ、席上アメリカ側他2名と共に、連合会名誉会員証を贈られた。サンフランシスコ郊外のダイヤポロレンタル社長、66才。

氏は世界のレンタル業の親睦を志して来られ、現在、南アフリカ、アイルランド、ヨーロッパ、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、日本…と、各地区、各国の協会と連絡を保っている。

←地区だより

中部建設機械リース業協会

I 業務提携—岐阜地区、三重地区基本契約締結
昨年構造改善推進強化会議以降、当支部内地域グループ集約化を既設組合（愛知リース協組）活性化について協議検討を進めておりますが。

○ 地域グループ化については

イ 6.2.4.1付

岐阜県地区業務提携基本契約締結

グループ名 「岐阜県建機レンタルグループ」

参加者 12社（事業所）

ロ 6.2.4.1付

三重県地区業務提携基本契約締結

グループ名 「建機レンタルグループ三重」

参加者 8社（事業所）

○ 愛知県建設機械リース業協同組合の状況

組合員の保有する機械の相互利用は漸く定着化しつつあり、61年度は毎月の幹旋額も安定してきた。今年度は更に相互の連携を密にして、保有機の稼働率向上、低稼働機の高利用、二重投資の排除等の課題を解決し、連帯を深めたい。

亦組合としての特性を発揮するための共同利用（組合が特定の選択した機械を保有し組合員が利用）の実現を目指し、昨年度末より具体的商品について検討段階に入っている。

II 愛知県商工部主催サービス業懇談会をもつ

愛知県商工部（当協同組合が所管される部）が、最近サービス業が情報サービス業や、当リース業界など急速に伸びている中で、中小企業者であるための収益性、人材確保・資金確保等種々困難な問題を抱えていることから

県として補助助成制度が講せられているが、その一環としてサービス業振興会議の名で昭和56年次降毎年5業種選定懇談会をもってきている、昭和60年3月当地同組合が設立した直後、懇談会をもち近代化につき意見交換したが、今回はその第2回目をもつこととなった。

日時 6.2.3.13（金）13:30～15:30

場所 名古屋三井ビル別館6F会議室

出席 愛知県商工部 土屋出査外 1名

特別講師 総合経営センター

加藤 靖彦

当方 坂井会長（理事長）以下
組合・協会 理事全員13名

○ 講演 加藤講師

テーマ「建設機械リース業の現況と将来について」

（講演1時間）

当地区内他業種での協同組合成功例・失敗例が多示され、それらの安岡分析、他山の石とする。

建設機械リース業は歴史が浅い業界である

1. 一つは浅いことで人的資源の蓄積が少く
2. 自己資本を中心とする物的資源も蓄積少いことが、何かやろうとするときの限界になる。更に機械の稼働率の低下・過当競争の激化・機械整備基準が未確立・機械化施工・安全上問題もあるのではないかと……

結論として集約化してコストダウンなし無用の競争を避け、適正利を確保することが必要である。

NEW MARK II

経営の姿勢として質を高くし建設機械とい
うハードにいかなるソフトを加えるか。

従業員の技術技能水準の向上も大きい課題
であること提えてくると共同でやるのが数
多くある。

2億以下の零細のところは70%といわれ
るこの業界にあって、強い力をもつのは集約

←地区だより

の力である。
○ 懇談会
講演終了後、質疑応答、意見交換がなされ、
集約化・大手メーカー市場参入・人材教育、
二重投資・大型プロジェクト・組合事業の拡
充策・官公審適格組合・賃貸料金等々の重要
関心事について活発な意見交換がなされた。

新東京建設機械リース業協会

トピック3題

☆ 会長42キロの第2山手線計画
21世紀の東京の新しい足となる都営地下鉄
12号線が、実現に向けて大きく動き出した。全
国でも初のケースとして第3セクターを建設主体
に、昭和71年度末の全線開業をめざし、事業は
急ピッチで展開されることになった。12号線は
未来都市光が丘パークタウンと新都庁舎の予定さ
れてる西新宿を結ぶ放射部、建設キロ12.8キロ
(練馬～光が丘間4.8キロは工事中)と、西新宿
を起点に飯田橋～本郷3丁目～上野広小路～両国
～門前仲町～月島～築地～汐留～浜松町～六本木
～代々木を1周する環状部(29.9キロ)からなる
全長42.7キロ、38駅のユニークな複合路線
で、その位置と形から第2山手線ともいわれている。
計画では、建設費の削減を狙って小型車両、小
断面トンネルを採用、とくに汐留駅と東京湾臨海
部の再開発など、未来の東京の街づくりを促す新
動脈としての役割をもたせている。建設工事費は
ざっと7,600億円、10年の短期間での全線開
業をはかるため、環状部の建設主体に全国初のケ
ースとして第3セクター方式を採用し、運営は当
面東京都交通局が行うという独創的な手法だ。

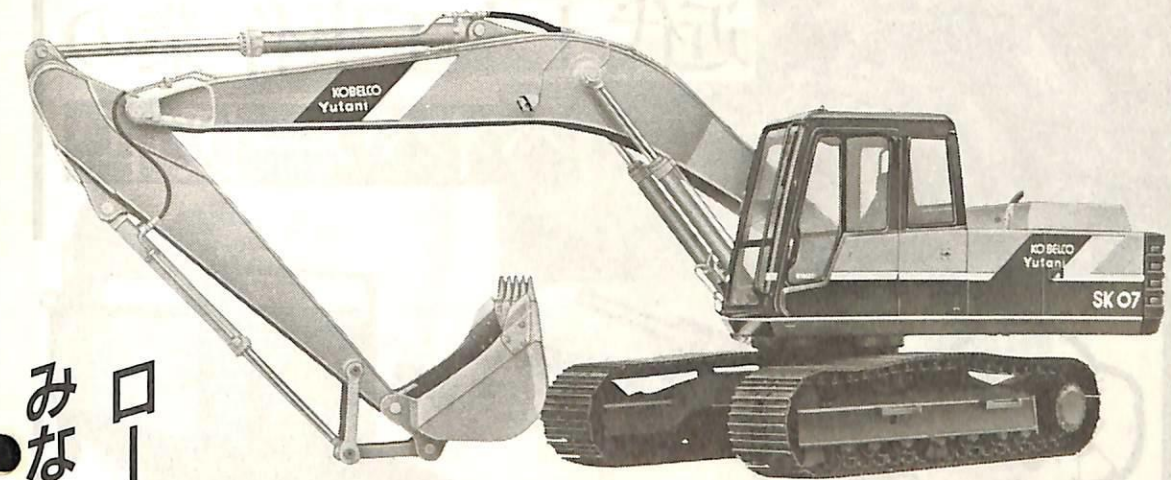
☆ 夢の計画 東京湾に1万ヘクタールの人工島
東京湾の中央部に、山手線の内側(64平方キ
ロメートル)の約1.5倍に当たる100平方キロ
メートル程度の人工島を建設、首都機能の移転と
ともに国際都市基盤を建設する。直接総額は55
兆円で、経済波及効果は120兆円と予想される。

☆ 民活法5号施設に認定
幕張メッセ 63年にも着工
通産、建設両省は5月7日民活法5号施設(国
際見本市市場)で初めて日本コンベンションセン
ター(幕張メッセ)の整備計画を認定した。

建設地は千葉県千葉市中瀬2丁目豊砂。幕張メ
ッセは日本最大のコンベンション施設で展示場
60,000平方メートルを中心に会議場など一体
化され、大型展示場として初めて全館冷暖房エネ
ルギーセントラル供給システムを採用するなど、
近代的な装備をそなえた最新鋭のコンベンション
センターとなる。民間サイドで複数のホテルを建
設する。

幕張メッセは千葉県新産業三角構想の基本プロ
ジェクトの一つ、幕張新都心地区の基幹施設とな
っており、事業費は400億円(62年～64年
度継続)。

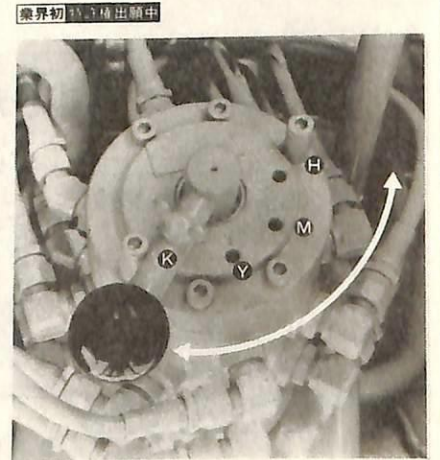
SK NEW MARK II シリーズ



ロータリマルチコントロール仕様が、
みなさまのご要望にズバリお応えします。

ユーザーの方々に有利に対応できるレンタ
ル効率のより良いショベルを……その想い
がSK NEWマークIIシリーズに結実しました。
とくにロータリマルチコントロール(オプション)付
きは、オペレータ希望のレバー操作パター
ンに即座に変更できるので、とても便利。誰
にでも手慣れた操作方法で安全に運転して
いただけます。安全性、居住性、操作性、さら
に作業性、耐久性、サービス性も大きく向
上させています。

手慣れた操作方式に即、変更OK!
ロータリマルチコントロール(オプション)
レバー操作パターンの変更時間をさらに短縮
した新開発のマルチコン。ロータリレバーをお望
みの方式にセットするだけで即、作業OKです。

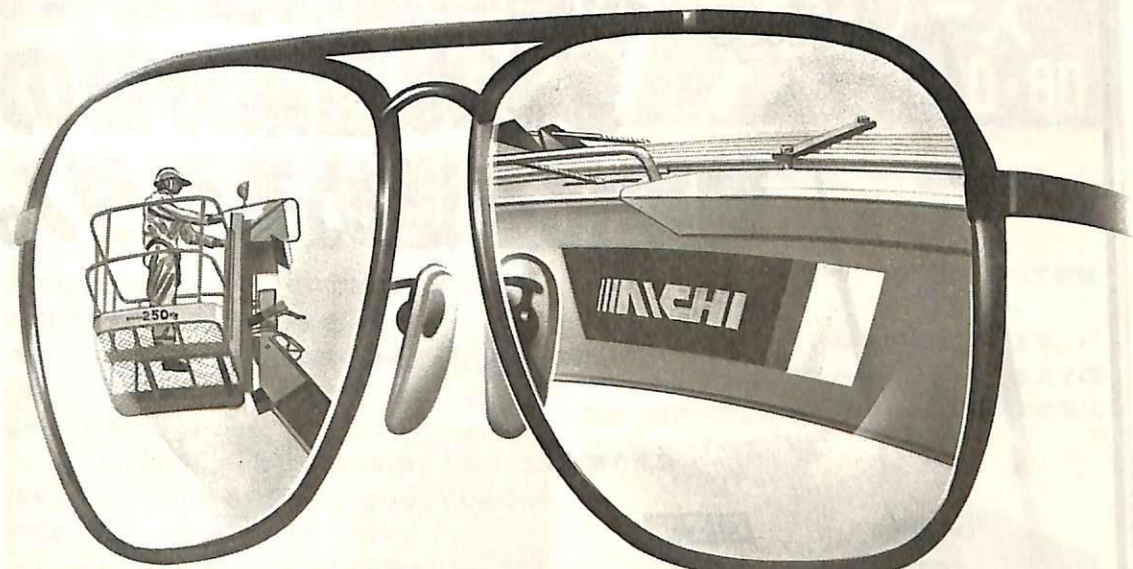


●KOBELCO Yutani方式
●加藤・石川島方式
●三菱・日鋼方式
●小松・日立・久保田・住友方式

- 世界初/周囲安全配慮の旋回フラッシュ&セイフ
ティブンパ。
- 世界一/5.5km/hの走りを実現させた2速走行モ
ータ。(SK03は除く)
- 業界初/無段階調整と操作ロック機能付ワンタ
ッチレバー。
- 業界初/微操作性と重掘り時のスピードを両立
させた新アーム引き可変再生。(SK03は除く)
- 大作業量、低燃費、操作性向上を果たすマイ
コン利用のITCS。(SK03は除く)
- 安全作業を約束する超広角視界のスラント
ノーズキャブ。

SK03	SK04	SK045	SK07	SK09
●標準バケット容量:0.3m ³	●標準バケット容量:0.4m ³	●標準バケット容量:0.45m ³	●標準バケット容量:0.7m ³	●標準バケット容量:0.9m ³

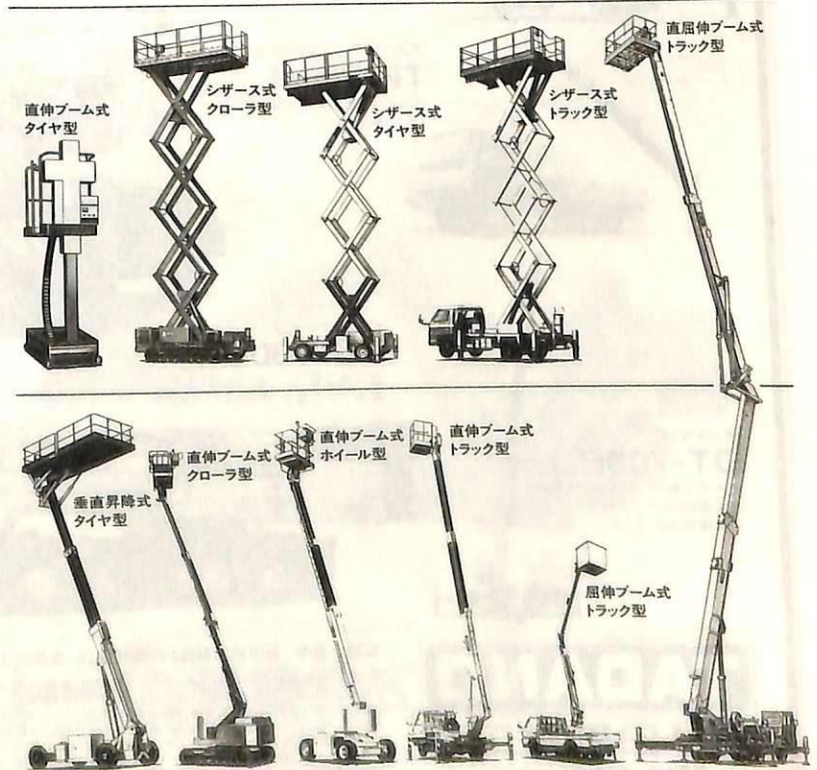
NACHI
高所作業車の専門メーカー。



現場でよく見る、マークです。

あらゆるニーズに応える、個性豊かなアイチのスカイマスター。

建設、塗装そして保守点検など高所作業の条件や作業内容はさまざま。アイチでは、あらゆる現場の安全・効率・高品質作業を実現するため、スカイマスターのシリーズ化を図っています。不整地に強いクローラ型。連続した移動作業が行なえるホイール型。現場への直行・直帰ができるトラック型。重く大きな資材が積めるシザー式。作業位置へすぐに接近できる直伸ブーム式など、地上高4mから30mまでの個性派ぞろいお待ちしています。



アイチ スカイマスター シリーズ

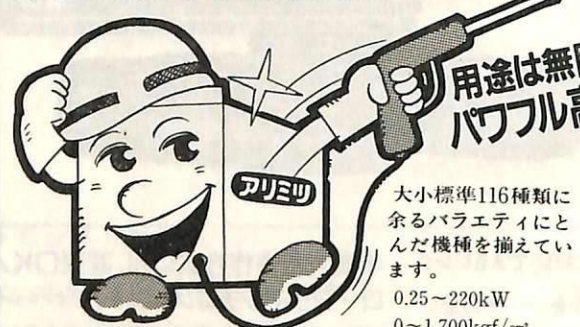
愛知車輛株式会社

東京支店 ☎03(862)4121(代)・名古屋支店 ☎052(621)5112(代)・大阪支店 ☎06(968)7731(代)・営業本部 ☎0487(61)1111(代)・株式会社北海道アイチ ☎011(665)1301(代)・株式会社東北アイチ車輦 ☎022(236)0421(代)・株式会社北越アイチ ☎0764(34)2181(代)・株式会社中国アイチ ☎082(285)0201(代)・株式会社四国アイチ ☎0878(74)0808(代)・株式会社九州アイチ ☎092(935)5353(代)

水エネルギーを追求する
FPMITSU

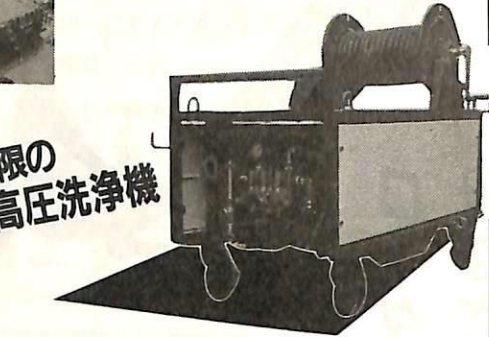
近代土木工事作業の ハイパワー援軍。

グリーン(レイタス)カット、岩盤洗浄、水圧テスト用



用途は無限の
パワフル高圧洗浄機

大小標準116種類に
余るバラエティにと
んだ機種を揃えてい
ます。
0.25~220kW
0~1,700kgf/cm²

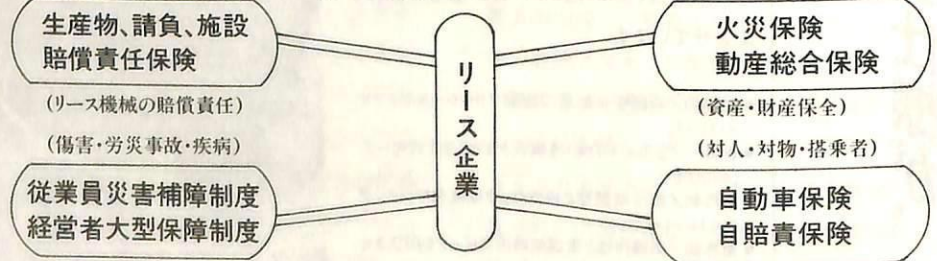


創業以来64年、さらに未来へ躍進する
有光工業株式会社
本社：〒537 大阪市東成区深江北2丁目3-21 ☎06(973)2020
東京営業所：〒101 東京都千代田区神田紺屋町47番地 ☎03(254)0855
名古屋営業所：〒454 名古屋市中川区助光3丁目170番地 ☎052(303)6688
福岡営業所：〒818 福岡県筑紫野市上古賀278の1 ☎092(925)7696
仙台営業所：〒983 仙台市福田町4丁目14-14 ☎0222(59)4093
営業所：札幌・大宮・松本

あちこちの工事現場で見かける、この顔、このマーク

さまざまなリスク(危険)からリース企業をがっちりガードする……

(リース企業に必要な保険一覧)



まだ、ご存知ない会員の皆様も是非所属協会または下記へお問い合わせ下さい。

引受保険会社 **AIU 保険会社**
(エイアイユー インシュアランス カンパニー)
赤坂支店：東京都港区赤坂3-1-2
TEL 03-(583)-1121

取扱代理店 株式会社 **サンライ**
横浜：横浜市戸塚区品濃町539-6アーバン東戸塚6F
〒244 TEL045-821-7181
東京：東京都港区赤坂6-18-3アイビービル4F
〒107 TEL03-505-4955
大阪：大阪府北区角田町8-47(阪急グランドビル16F)
〒530 TEL06-316-1541

先進の油圧技術で、 多彩な産業分野の 効率化を進めるタダノ。

昭和30年、国産初のトラッククレーンを開発したタダノ。

以来、豊富な経験と蓄積された技術により

タダノはつねに時代のニーズに応えた多種多彩な製品づくりに取り組んでいます。

そして、いまでは土木建設に欠くことのできない

大型トラッククレーンを始めラフターライン、カーゴクレーン

高所作業に際立った威力を発揮するスカイボーイ、さらにセルフロード、

バックホウなどを揃え、幅広い作業や用途にお応えします。

新時代、タダノは技術革新に対応しながら

最新技術を駆使した効率的な製品の開発を進めます。

新登場

スカイボーイ
AT-230CG
バケット底面高さ 23.0m
4t車級架装

スーパーZ
Z 306M
最大吊上能力 2,930kg
4t-5.5t車級架装

ラフターライン TR-400M

最大吊上能力 40,000kg
最大ブーム長さ 33.4m+13.0mジブ

タフローダ
TF-750H
クレーン容量7t・m(2,980kg×2.35m)
4-12t車架装

トラッククレーン TG-1600M

最大吊上能力 160,000kg
最大ブーム長さ 50.0m+27.5mジブ

ボールセッター DT-700P

最大吊上能力 2,900kg×4.55m
最大掘削トルク 700kgf・m
最大掘削深さ 5.2m

TADANO

株式会社 多田野鉄工所

営業本部 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル30F TEL.03(435)3611代表

お問い合わせ、お求めはお近くの当社支店・営業所までどうぞ。

北海道(札幌)011(86)19030/帯広0155(25)6262/室蘭0143(44)0045/旭川0166(25)2817/東北(仙台)022(288)5550
/盛岡0196(52)2248/青森0177(77)4231/秋田0188(64)8669/郡山0249(32)3513/関東(大宮)0486(41)3621/水戸02
92(24)1155/宇都宮0286(35)8555/千葉0472(42)2261/東京03(699)1441/多摩0423(65)0981/南関東(横浜)045(20
1)8771/静岡0542(82)2117/北陸(富山)0764(31)8427/新潟025(245)7321/福井0776(53)2561/名古屋0586(76)11
81/松本0263(35)6131/大阪06(746)8731/京都075(681)0421/和歌山0734(53)7721/神戸078(928)9061/西国(高松)
0878(39)5777/高知0888(45)0073/岡山0899(43)5133/中国(広島)082(884)0255/岡山0862(23)9258/徳山0834(31)
1715/松江0852(24)7050/九州(福岡)092(503)7821/北九州093(531)2681/大分0975(32)6337/鹿児島0992(53)0008
/長崎0958(28)2766/宮崎0985(54)2843

可変型高周波杭打抜機
高能力・超低公害

VXシリーズ

40・60・80



“高能力・低公害・省力化”の一層の促進、今、この限りないテーマに振動杭打抜機としての一つの結論を提起します。

可変型の名の通り、押ボタンの操作ひとつで機械の動きを自在に調整。

地盤変化に即応するこの画期的な機構により、パイロを超える破格の性能と、LSVを超える万全の振動・騒音対策効果を同時に達成する驚異の新型杭打抜機……それが“VX”シリーズです。

エンジン駆動式ウォータージェット
スラッシュジェット
SJ-75・125E
・300E



鋼矢板・H形鋼・鋼管矢板等
既製鋼杭の打設システム **JV工法**

振動と水

JV工法…地盤や杭の条件に合わせて振動杭打機とウォータージェットカッターの適切な組み合わせにより、あらゆる既製杭を低公害・高能力・高効率で打込む施工法です。最新のVXシリーズとSJEシリーズの組み合わせはJV工法の格段の進歩を実現します。

Job-Ace ミニバックホー TBシリーズ

フロント最小旋回半径
1,130mm



- エンジン出力 **23PS**
- 機体重量 **2500kg**
- バケット容量 **JIS 0.07m³(0.12m³)**
- 最大掘削深さ **2500mm**
- フロント最小旋回半径 **1130mm**

トーマン建機株式会社

東京本社 東京都品川区五反田2丁目28番11号(第5岩田ビル)
☎(03)492-8481

明治生命



かけがえのない肩だから。

経営者・役員を守る生涯保障プランです。

1. 大型保障で、働き盛りの経営者の信用を支えます。
2. 事業の発展に貢献された経営者・役員のための
(生存)退職慰労金の準備ができます。
3. 保険料は会社経理で。
しかも定期保険特約部分の保険料は、損金処理できます。

明治の経営者保険

ダイヤモンド保険 ニューライフ (定期保険特約付終身保険)

いずれも精強!! 猛者揃い

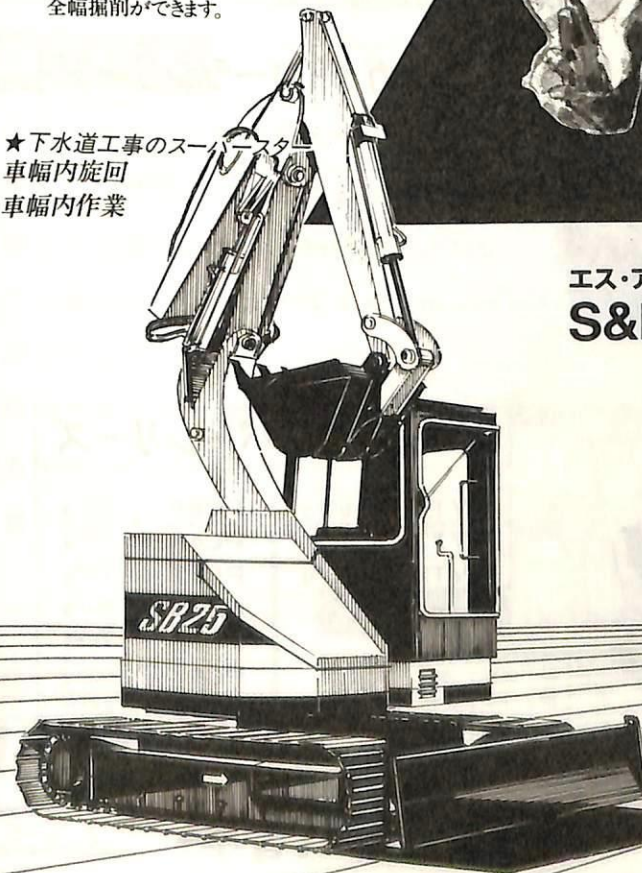
現場渴望のニューマシーン。いま
センセーショナルに新登場



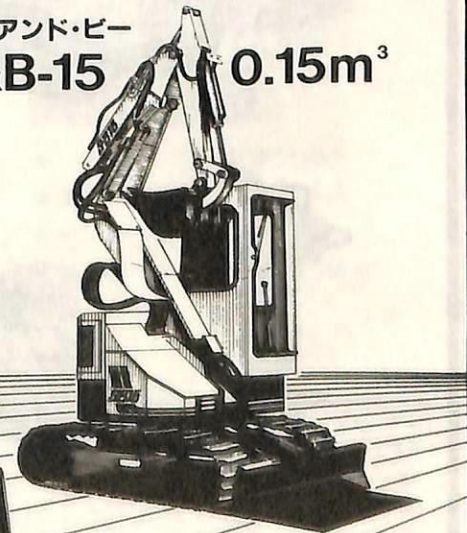
エス・アンド・ビー S&B-25/0.25m³

- クラス最大の掘削深さ、最小の旋回半径。
- 路地の下水道工事、片側車線内安全工事に最適。
- レバー操作方式をワンタッチで好きな形に変えられます。
- 車幅内で掘削～旋回～積み込みができます。
- オフセット機構で、機体を旋回することなしに車体の全幅掘削ができます。

★下水道工事のスーパー
車幅内旋回
車幅内作業

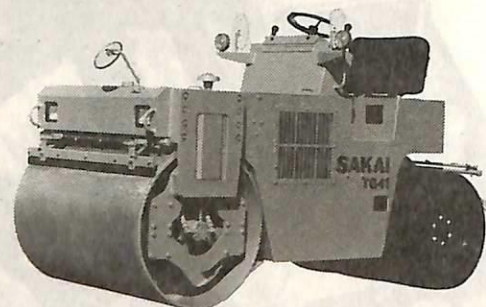


エス・アンド・ビー S&B-15 0.15m³



日産機材株式会社
TEL (0492)-58-1811(代表)

「技術と実績 ローラのサカイ」 小型振動ローラシリーズ



TG・TWシリーズ

TG15	1,500kg	SG41	4,150kg
SG15	1,550kg	TW41	3,500kg
TG25	2,500kg	SW41	4,000kg
SG25	2,700kg	TW60	5,750kg
TW25	2,350kg	SW60	6,550kg
SW25	2,500kg	SW70	7,000kg
TG41	4,000kg		



ハンドガイドローラシリーズ

SV6	600kg
SV8	770kg

プレート・タンパーシリーズ

VT6	60kg	PC6S	60kg
VT7	70kg	PC6A	60kg
VT8	80kg	PC6T	75kg
		PC7S	70kg
		PC7B	75kg
		PC8	90kg
		PC8S	85kg

SKG 酒井重工業株式会社

TEL.03(434)3401代表

営業所：札幌・仙台・東京第一・東京第二・芝浦・名古屋・大阪・広島・福岡

工事排水用 水中ポンプ

これ以上軽くはできません！

待望のアイムセミボルテックス V-400で14kg
Vシリーズ登場！

小さなボデーに
アイムならではの技術を結集し、
最低の管理コストを実現。
今日からポンプのメンテナンス費用
気になりません。
今が見直しのチャンスです。



特長

- ボデーはアルミ合金により抜群の軽量さ
- ボルテックス形のため詰まりや噛込がない
- 羽根車の磨耗が少なく特性低下がない
- 吐出管の取付け方向が変えられホース折れ
がなくなる
- 余裕のある半内装形冷却により低水位運転
も安全
- 最少限のメンテナンスでよく稼働率が向上

用途

- 一般土木・建設工事の排水
- 湧水・溜まり水などの排水
- マンホールなどの排水
- 地下道・トンネルなどの排水

仕様 (50/60Hz)

形式	口径 mm	出力 kW	極 数	相・電圧 V	全揚程 m	吐出量 m ³ /min	重量 kg	始動方式	ポンプケーブ ル mm ² ×心数×長さ
V-400	50	0.4	2	単相100	8	0.12	14	コンデンサ	1.25×3×8m
V-51	50	0.75	2	三相200	10	0.18	15	じか入れ	1.25×4×10m
V-82	80/50	1.5	2	三相200	10	0.35	27	じか入れ	1.25×4×10m
V-105	100/80	3.7	2	三相200	10	0.9	47	じか入れ	2.0×4×10m

技術で明日をひらく



アイム電機工業株式会社

本社・工場 〒807 福岡県遠賀郡水巻町大字猪熊字内川端1393-1 ☎093(202)4141

東京 ☎03(766)4131 札幌 ☎011(222)3802 仙台 ☎022(271)5580 新潟 ☎0252(87)1144
 津 ☎0439(52)2972 北関東 ☎0486(44)5811 千葉 ☎0472(47)8913 大阪 ☎06(326)3163
 名古屋 ☎052(412)2931 和歌山 ☎0734(55)7466 四国 ☎0897(37)3451 岡山 ☎0864(48)0221
 広島 ☎082(243)8191 福岡 ☎092(503)8195 北九州 ☎093(202)4141

右90度超スイングの
新・小旋回UZ機シリーズ。

バックホーの小旋回時代を拓いたヤンマーが、
イメージを一新してお届けする尖鋭UZシリーズ。

都市部での道路・公園・路地裏など狭い作業現場に

最適の都市型対応小旋回機です。

数々の先進機能に、ヤンマー強さの血統が生きています。



大きく掘って「小旋回」狭い現場ほど威力を発揮します。
稼げる建機 届けます。

大きく掘って「小旋回」狭い現場ほど威力を発揮します。

YB351-2-UZP

- エンジン：立形31PSターボディーゼル
- 標準バケット容量：0.09m³

フロント旋回半径
1.56m

フロント旋回半径
1.40m

YB251-2-UZP

- エンジン：立形23PS
- 標準バケット容量：0.07m³

フロント旋回半径
1.40m

YB301-2-UZP

- エンジン：立形25PS
- 標準バケット容量：0.07m³

さらに使いやすくなった、
都市型土木の決定版

ヤンマー
クローラ
バックホー

※カタログご希望の方は本社・宣伝部まで。

ヤンマーディーゼル株式会社 (本社) 大阪市北区茶屋町1番32号 〒530 TEL (06) 372-1111

協会支部名簿

(昭和62年7月現在)

社団法人 全国建設機械器具リース業協会
会長 坂井 照

事務局 〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4階
TEL 03(293)7273-4 FAX 03(293)7275

支部名称	代表者名	事務局長名	事務局所在地	電 話	〒
北海道建設機械リース業協会	片桐 理	安達美代治	北海道札幌市中央区北4条東2丁目7番地3 斎藤ビル2階	011-221-1485 FAX.222-4607	060
青森県建設機械リース業協会	川村 雄蔵	槻木沢四郎 北川留理子	青森県八戸市大字長苗代二丁目7-1 (株)ほくとう内	0178-27-0710 FAX.27-0712	039-11
秋田県建設機械器具リース業協会	大高 至	大内 英昭	秋田県湯沢市千石町4-2-50 (株)九大工機商会内	0183-73-5151 F.0183-73-3353	012
宮城県建設機械リース業協会	阿部 喜平	高田 定雄	宮城県仙台市福室字高砂駅東17 青葉商工ビル3階	022-259-0631 FAX.58-0522	983
福島県建設機械器具リース業協会	菅野 剛	鈴木 英子	福島県郡山市富田町字向館121-20	0249-52-0588 F.0245-45-3135	963
新東京建設機械リース業協会	小俣 實	関口正一郎	東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4階	03-294-4071-2 F.03-293-7275	101
神奈川県建設機械リース業協会	中村 憲	田口 政重	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町1丁目6番1号 岩井ビル5階	045-322-0613 FAX.314-5513	221
長野県建設機械リース業協会	原 幸男	清水 英明	長野県飯田市大門町26番地 (株)原鉄内	0265-24-9178 FAX.24-1205	395
茨城県建設機械リース業協会	国本 新宰	(成田八重子)	茨城県筑波郡谷田部町松代2-9-15	0298-55-6631 FAX.	305
群馬県建設機械リース業協会	高屋 浩志	坂本 勝利	群馬県前橋市上小出町755番地8 高栄リース(株)内	0272-33-0522 FAX.31-2954	371
静岡県建設機械リース業協会	松井 重雄	片桐 茂	静岡県浜松市上西町865 大興リース(株)内	0534-63-8821 FAX.64-0034	435
静岡県重機建設業工業組合	近藤 憲一	山川 安豊 保坂 益男	静岡県静岡市新川2-1-40 新川ビル2階	0542-85-9231 FAX.84-5381	421-01
中部建設機械リース業協会	坂井 照	津田 正哉	愛知県名古屋市区西區藤ノ宮通り3-43 小出ビル内	052-571-2080 FAX.561-6529	451
富山県建設機械リース業協会	高野 義雄	小倉 秀信	富山県黒部市沓掛567 吉田商会内	0765-54-1371 FAX.54-3307	938
石川県建設機械リース業協会	吉川 義孝	副田 正夫 後本 暁男	石川県金沢市北安江町205-3 (株)吉川土木機械製作所内	0762-62-4585 FAX.23-3601	920
福井県建設機械リース業協同組合	水野 健治	松川 秀次	福井県福井市問屋町2丁目45番地 松田ビル3階	0776-21-9010 FAX.21-3210	910
大阪建設機械リース協同組合	佐川 重徳	野崎 雅子	大阪府大阪市浪速区桜川3-4-24 カベタニビル内	06-561-7405, 7407 FAX.567-3432	556
兵庫県建設機械リース業協同組合	末田 芳晴	小川 壮一	兵庫県神戸市中央区多聞通3-2-9 甲南スカイビル2F206	078-361-2481 F.078-681-4913	650
中国建設機械リース業協会	野口 誠輔	三本 勢造	広島県福山市曙町3丁目200-2 富野機工(株)内	0849-53-9511 FAX.53-3395	721
四国建設機械リース業協会	田中 萬一	明石 俊幸	香川県高松市春日町795 (株)田中鉄工所内	0878-43-6140 FAX.43-3546	761-01
九州建設機械器具リース業協会	深尾 弘美	松永 満	福岡県福岡市東区箱崎7-1-124 西鉄(株)建機営業部内	092-651-1192 FAX.641-3290	812

編集後記

今首都圏の水がめの貯水量が50%に満たないままに梅雨明けとなりました。このような状況の元で節水運動が続けられております。

会報第28号(S62年度前期分)をお届けします。本号には5月22日の総会での決定事項及び第6回流通委員会の記録、構造改善計画の概要管理技術者講習会の日程や講師諸先生のご紹介、並びに厚生年金基金発足の記事等が取り上げられております。又、私が述べるまでもなく、国際世論等々外因による内需振興のための大型補正予算及び、今年度予算の100%の早期発注等々、つゆ空の晴れ間が久方ぶりに見えておりますが、そんなに持続するとは思われません。今こそ各社の真の構造改善が必要でしょう。そのためにご熟続いただくようお願いいたします。

再三お願いしておりますが、地区だよりの投稿が非常に少なく、各支部においては繁栄の途を歩んでおられるのと思われませんが反面苦情も多々有るよう感じられます。この会報は会員皆々様の情報交換の場でもあります。次号より是非生のニュースや記録又は会員個々のご投稿(短歌、俳句等)をいただければ幸いです。

協会常任理事・広報委員長
三瓶徳司

会報 第28号

発行/昭和62年7月25日 発行者/(社)全国建設機械器具リース業協会
東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F(〒101) TEL03(293)7273~4
発行責任者/広報委員長 三瓶徳司
制作/ノダ企画・東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル(〒113) TEL03(832)6473

会員バッヂ頒布について

会員増加に伴ない、「会員バッヂ」を制作しました。今回のものは、肉厚で、金張りも従来品より良く立派なものです。

ご希望のむきは、協会支部宛お申込み下さい。

記

会員渡し1個 1,500円 (送料別途)

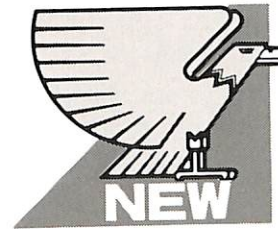
純銀製24金張総ミガキ上げ、特ネジ式

(寸法径11%×厚2%)



●表紙写真について

高度成長のシンボル、新宿高層ビル群上空より関東平野西郊を望む。今回のカラー写真は大成建設様よりのご提供による。

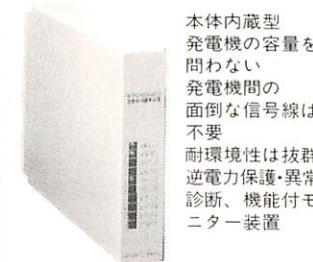


NEW NES 防音型 シリーズ ディーゼル発電機

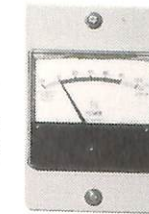
- 信頼に応えるニューパワー、万全なる安全対策 ●自動車感覚でらくらく運転
- 軽量・コンパクト、静けさ抜群 ●並列運転装置

オプション

全自動並列運転装置 シンクロート® パワーメーター 自動始動装置



本体内蔵型発電機の容量を問わない発電機間の面倒な信号線は不要
耐環境性は抜群
逆電力保護・異常診断、機能付モニター装置



リモコン付スローダウン装置
全自動スローダウン装置
(リモコン・制御用ケーブル不要!!)

省燃費
オイル消費の減少・エンジンの長寿命
ディーゼル発電機の遠隔操作

発電機の使用電力を%で表示、並列運転の各発電機の負荷分担量が判る。逆電力リレー内蔵。自動始動装置は発電セットに内蔵でき、特別な自動始動盤は必要としません。又、故障表示灯もコントロール盤面に取り付けられ、異常項目を表示します。

※モニター装置、漏電ブレーカー標準装備

製造元——— **日本車輛製造株式会社**

総代理店——— **日熊工機株式会社**

建設機械部 名古屋市中区栄3-2-7 丸善ビル5階 〒460 電話(052)261-8356
建設機械部東京営業所 東京都中央区八丁堀1-11-5 奥山ビル 〒104 電話(03)552-9506
東京 名古屋 大阪 札幌 仙台 福岡 広島 新潟 金沢 青森 鹿児島

確かな技術で世界をむすぶ



エアマン

の建設機械



LESS FUEL & MORE SAFETY

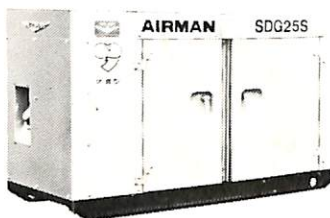
より優れた環境づくりを目指し
豊富な経験と確かな新しい技術で
省エネ、騒音対策、高効率などを
お届けします。



■ スクリューコンプレッサ
PDS125S



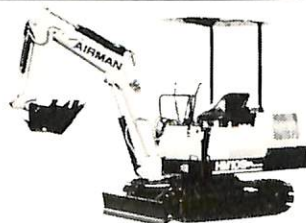
■ スクリューコンプレッサ
SMS75S



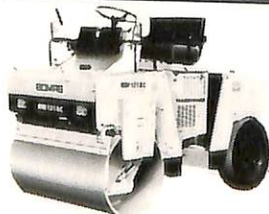
■ ブラシレス発電機
SDG25S



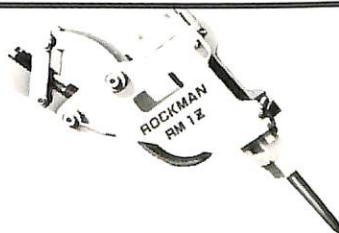
■ エンジン溶接機
PDW280SC II
(二人同時溶接)



■ ミニバックホー
HM10S



■ ホーマク振動ローラ
BW121AC



■ 油圧ブレイカ
RM1Z

★ 主要製品 ● スクリューコンプレッサ ● ローターコンプレッサ ● エンジン発電機 ● エンジン溶接機
● ミニバックホー ● 振動ローラ ● ランマー ● フレート ● 油圧ブレイカ



北越工業株式会社

- 東京本社・支店 東京都新宿区西新宿1 22 2 新宿サンエービル 〒160 ☎(03)348 8561
- 大阪支店 大阪府摂津市新在家2 32 13 〒564 ☎(06)349 3631
- 営業所 札幌・旭川・盛岡・仙台・新潟・郡山・宇都宮・高崎・松本・千葉・横浜・静岡・富山・金沢
名古屋・津・京都・奈良・和歌山・神戸・岡山・松江・広島・山口・高松・高知・松山・福岡
大分・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・那覇